

平成17年度作井技術委員会運営幹事会（第3回）議事録	
開催日時	2005年10月31日（月） 15時00分～17時30分
開催場所	帝国石油㈱ 5号会議室
出席者	富岡正委員長、池田正市（帝国石油）、澤村啓（日本海洋掘削）、吉田恒夫、今里昌幸（石油資源開発）、福嶋直哉（出光オイルアンドガス）、長縄成美（東大） 以上 運営幹事 古谷昭人（日本海洋掘削）、田崎誠司（帝国石油） 以上 分科会座長 事務局：玉川孝之（帝国石油） 順不同敬称略
議題1	分科会活動報告 大水深掘削技術分科会 ・次回会議を12月5日（月）に開催予定。委員からの意見を聞き、今後の活動を模索したい。 ・運営幹事から、成果物（例えば石油技術協会技術資料）を出す構想はあるのかの問いに対し、収集した文献などで発表形式の勉強会をやり、発表資料を集めて成果物とするという考えが示された。また大水深掘削技術の範囲をあまり広げてしまうと、まとまりがつかなくなるのでテーマを絞ってみてはどうかの意見が出された。 ホームページ分科会 ・作井技術委員会ホームページの会議案内の更新を行った。
議題2	H18年度春季講演会シンポジウムテーマについて ・「新規技術の適用 その功罪」（古谷氏）を提案して頂いた。各社で新技術・新手法が提案、適用されているが、その実績と評価などを紹介し効能とリスクを考えてみてはどうか。 ・生産技術委員会が大学に出向きプレゼンテーションを行っていて評判が良い。来年は仙台市なので学生を引きつけるようなテーマが良いのではないか。 ・井戸掘りの技術を後世に伝承していくためにも、民間会社からは新技術の紹介や問題点などを、また大学からは研究成果を発表する。例えば会社での問題点を大学の実験・研究で解決できれば、「産学協同」につながり、お互いにメリットがある。 ・JODCO、MOECOの民間会社、JOGMEC、JAMSTECなどにも参加を要請し、最新技術を紹介して頂きたい。 ・「新規技術と基礎研究（仮題）」とし、1週間以内に池田運営幹事が主旨を書き、運営幹事に伝えることになった。次回運営幹事会で決定したい。

<p>議題 3</p>	<p>増田先生の案件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石油鉱業連盟（石油開発時報）から依頼された掘削技術記事の執筆については、長縄先生にお願いしたい。作井技術委員会としても協力は惜しまない。
<p>議題 4</p>	<p>その他</p> <p>理事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石油技術協会賞の推薦は、H18.2.20 締め切り ・ 個人講演の募集は、H17.12.1～H18.2.10 <p>作井技術委員会活動費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収支の見通しを見ると、厳しい状況が予想されるので皆さんの協力をお願いしたい。 <p>来年度以降の事務局について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の新事務局は石油資源開発にお願いし、了承された。 <p style="text-align: right;">以 上</p>